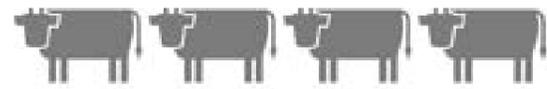


津別町農作物作付動向調査

～ 結果報告 ～



町では各年の7月1日現在で「農作物作付動向調査」を実施しております。
今年の調査結果がまとまりましたので、概要についてお知らせします。



▼農家戸数と農業従事者人口（過去5年間の推移）単位：戸・人

年度	戸数	従事者人口	男女別内訳	
			男	女
H26	160	506	297	209
H27	157	503	299	204
H28	156	505	303	202
H29	155	496	295	201
H30	154	479	280	199
H29とH30の増減割合(%)	△0.6	△3.4	△5.1	△1.0

▼畑作物の作付け動向（過去5年間の推移）単位：ha

年度	麦類	豆類	馬鈴薯	野菜	工芸作物	飼料作物	その他	計
H26	1,353	580	610	435	924	1,135	72	5,109
H27	1,337	560	610	435	952	1,159	96	5,149
H28	1,322	501	647	438	938	1,105	69	5,020
H29	1,331	520	643	432	886	1,129	77	5,018
H30	1,389	572	631	444	792	1,071	51	4,950
H29とH30の増減割合(%)	4.4	10.0	△1.9	2.8	△10.6	△5.1	△33.8	△1.36

▼家畜（過去5年間の推移）単位：頭

(1) 乳用牛	年度		H30	H29	H28	H27	H26
	未経産牛	12か月未満		284	248	284	288
12以上18か月未満		512	489	559	552	548	
18か月以上		232	270	228	250	236	
経産牛			941	941	1,033	1,060	1,082
計			1,969	1,948	2,104	2,150	2,230

(2) 肉用牛	年度		H30	H29	H28	H27	H26
	肉専用種 (黒毛牛等)	肥育		1,254	1,258	1,297	1,241
繁殖		914	902	753	1,089	1,133	
素牛		1,565	1,186	1,128	1,161	1,292	
ホル雄牛	8か月未満		1,627	1,670	1,651	1,634	1,739
	8か月以上					1	2
F1			72	92	143	167	114
計			5,432	5,108	4,972	5,293	5,757

問い合わせ先 住民企画課 企画グループ ☎ 76 - 2151 (内線 215)

～みんなでつくる10年後のつべつ～第6次津別町総合計画 第2回策定委員会を開催 ワークショップでまちの長所と課題を協議



3つの部会に分かれて行ったワークショップの結果を、部会ごとに発表した。

町では、政策を総合的・計画的に進めるために「津別町総合計画」を策定しています。現在は平成22年度から始まった第5次総合計画に基づいて政策を実行していますが、同計画は平成31年度をもって終了します。そこで新たに平成32年度を初年度とした「第6次津別町総合計画」の策定に向けて、準備が進められています。

先月号では、策定委員会が設置され、30人の委員と3つの部会が決定したことをお知らせしました。今回は、8月8日に開催した第2回策定委員会での、部会に分かれてのワークショップの様子をお伝えします。

ワークショップでは、テーマごとに、津別のすばらしいところ、残念なところを分類しました。各部会から挙げられた特徴的なものは、次のとおりです。

まちひとづくり部会（教育・人材育成・行財政等）
 ☆すばらしいところ 町に高校がある。木育授業が行われていること。
 ★残念なところ 人口が少ない。子どもも少なく、中には町外の高校に通いたい子もいるが、交通の便が悪い。津別に残ってもらうための教育、戻ってくるために企業の宣伝が必要。

住民生活部会（医療福祉・子育て・社会基盤等）
 ☆すばらしいところ 町に病院がある。（中学生以下の）医療費が無料。子育て支援センターや子ども園の存在。除雪のレベルが高い。公共の住宅が整備されている。
 ★残念なところ 病院に小児科がない。バス運行の少なさ。



ワークショップの様子。津別町の長所や課題を付箋に書き出す作業を行う、産業交流部会のメンバー。

次回、今回の内容を詳しく掘り下げ、課題解決の道筋を立てることを予定しています。

問い合わせ先
 住民企画課 企画グループ
 ☎ 76 - 2151 (内線 215)

産業交流部会（産業振興・観光・交流等）
 ☆すばらしいところ 自然が多く、発信しやすいという人もたくさんいる。林業の企業が10社以上、特に丸玉木材という大きな会社がある。青年団体、農業関係者、最近では音楽で盛り上げようという人など、熱い思いを持つ人が町にいます。魅力を発信できる道東テレビなどの情報力。
 ★残念なところ 決定的な観光資源（雲海、双子の桜、チミケツプ湖、森林セラピー等）決められていない。また主産業もはつきりしない。しかし逆にいえば、選択肢が多いととらえることができる。